金融市場部 為替営業第二チーム

MIZUHO

One MIZUHO

みずほCustomer Desk Report 2023/08/02 号(As of 2023/08/01)

U) / 100 UUU	COINCI DOSK	toport zoz	0/00/02 ·J	(710 Of LOLO)	00/01/
【昨日の市況概要				公示仲值	142.44
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	142.35	1.0998	156.54	1.2832	0.6717
SYD-NY High	143.54	1.1002	157.47	1.2838	0.6723
SYD-NY Low	142.22	1.0952	156.49	1.2742	0.6603
NY 5:00 PM	143.34	1.0985	157.46	1.2776	0.6613
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	35,630.68	71.15	日本2年債	0.0015%	0.0115%
NASDAQ	14,283.91	▲ 62.11	日本10年債	0.5900%	▲0.0100%
S&P	4,576.73	▲ 12.23	米国2年債	4.9048%	0.0210%
日経平均	33,476.58	304.36	米国5年債	4.2248%	0.0421%
TOPIX	2,337.36	14.80	米国10年債	4.0361%	0.0703%
シカゴ日経先物	33,225.00	▲ 70.00	独10年債	2.5240%	0.0620%
ロントンFT	7,666.27	▲ 33.14	英10年債	4.3985%	0.0950%
DAX	16,240.40	▲ 206.43	豪10年債	4.0120%	▲0.0200%
ハンセン指数	20,011.12	▲ 67.82	USDJPY 1M Vol	9.88%	▲0.02%
上海総合	3,290.95	▲ 0.09	USDJPY 3M Vol	9.78%	0.10%
NY金	1,978.80	▲ 30.40	USDJPY 6M Vol	9.44%	0.16%
WTI	81.37	▲ 0.43	USDJPY 1M 25RR		Yen Call Over
CRB指数	280.85	▲ 1.33	EURJPY 3M Vol	9.63%	0.08%
ドルインデックス	102.30	0.45	EURJPY 6M Vol	9.49%	0.11%

東京時間のドル円は142.35レベルでオープン。日銀がYCC政策変更後も金利上昇を抑制するスタンスを示したことを背景とした円売り圧力の高まりに加えて、日経平均株価の上昇もサポート材料となりドル円は底堅く推移。午後にはRBAにて市場予想に反して金利据え置きが発表されAUDが対ドルで売られるとドル円は142.84を付けた。結局142.62レベルで海外時間に渡った。

ロントン市場のトル円は、142.62レヘルでオープン。昨日からの流れを引き継ぎトル円は上昇。142.99まで買われ同レヘルでNYに渡った。ポントトルは、1.2830レヘルでオープン。英7月の住宅価格が下落幅が先月よりも広がっており、ここもとの下落幅は実に2009年以来との報道が見られる中ポントは弱含み。1.2785レヘルでNYに渡った。(ロントントールフリー 00531 444 179 神田)

海外市場のドル円は142円台前半でスタート。特段注目の材料は見当たらなかったが、前日に日銀による臨時の国債買い入れ木ペが行われた事で、日銀の金融緩和姿勢が再び意識され、円売りが強まり、142.99レベルでNYオープン。オープン後は海外時間の流れを引き継ぎ、143.45まで続伸。その後発表された米6月JOLT求人件数が予想を下回り、同時に発表された米7月ISM製造業景況指数も予想より悪化した内容を受け、ドル売りで反応し一時142.88まで下落するも、すぐに買い戻され再び143円台前半まで戻す。午後も高値圏での値動きが続き、143.54まで上げ幅を拡大する。買い一巡後は小幅反落し、143.40付近で揉み合いとなり、143.34レベルでクロース、。一方、海外市場のユーロ・ルは1.09台後半でスタート。欧州株式市場の軟調な展開を背景に、1.0960台まで下落する。その後ドイツ7月失業者数が発表され、予想より改善された内容となるものの、特段反応は見られず、1.0980付近を挟んだレンジ・推移が続き、1.0976レベルでNYオープン。朝方は独金利が低下する動きが上値を抑え、1.0952まで続落する。売り一巡後は、買戻しの展開となり、一時1.0989まで反発するも、買いは長続きせず、1.0960台まで反落する。午後は独金利が反転上昇する展開を眺めながら、再び高値圏の1.0980台まで戻し、1.0985レヘ・ルでクロース。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:鈴木•鈴木

京

ン

3

【昨日の指標等】

THE IN SOUTH AND						
Date	Time		Event		結果	予想
8月1日	08:30	日	失業率 大業率	6月	2.5%	2.6%
	10:45	中	Caixin中国製造業PMI	7月	49.2	50.1
	13:30	豪	RBAキャッシュレート	1-Aug	4.10%	4.35%
	18:00	欧	失業率	6月	6.4%	6.5%
	23:00	米	建設支出(前月比)	6月	0.5%	0.6%
	23:00	米	ISM製造業景況指数	7月	46.4	46.9
	23:00	米	JOLT求人	6月	9,582K	9,600K

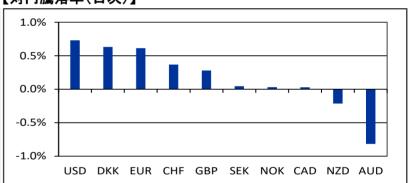
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
8月2日	21:15	米	ADP雇用統計	7月	190K	497K

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】





【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	
想定レンジ	142.00-144.00	1.0930-1.1080	156.30-158.30	

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は142.35でオープン。先週末の日銀会合後から続く円売りの流れを受けて、ドル円は堅調な推移。徐々に値を上げる中、 米国時間には143円台を突破。米6月JOLT求人や米7月ISM製造業景況指数が予想を下回ったことによる下押し圧力もこなしながら底堅い 推移を続けると、143.54まで上値を伸ばし、143.34でクローズした。

本日のドル円も引き続き底堅い推移を予想する。YCCの実質的な修正はなされたものの、臨時の買い入れオペ等により、日銀の金利上昇抑制のスタンスは明白。他国との金利差はより意識される地合いにあり、広範な円売りが継続か。ただ早朝には「格付会社が米国を格下げ」とのヘッドラインがあったことや前日の米経済指標が軟調な結果だったこともあり、今週末に米7月雇用統計を控える中で、本日発表が予定されている米7月ADP雇用統計の結果次第で、ドル売りを主導としたドル円の下押し圧力が強まる可能性がある点には注意をしておきたい。

